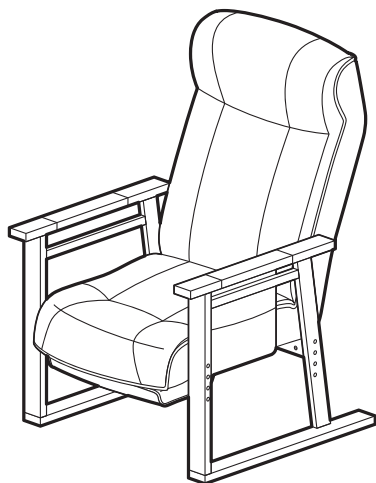


この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の内容で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

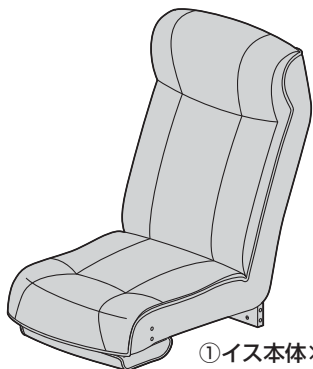
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用をお勧めします）

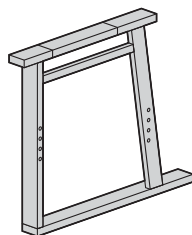


組立て部品

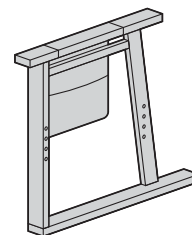
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCH014など)と下記の部品番号(①～⑥)と部品名(ボルトAなど)をお知らせください。



①イス本体×1個



②サイドフレーム(右)×1個

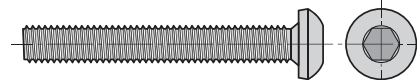


③サイドフレーム(左)×1個

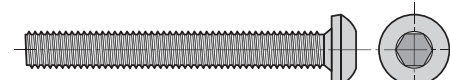
ボルトセット



④マイナスドライバー兼六角レンチ(5mm)×1本



⑤ボルトA×4本 (M6×45)

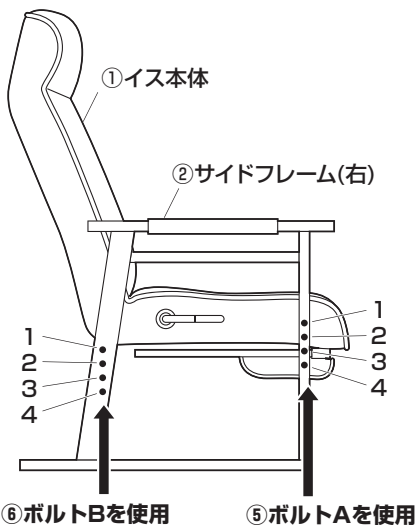


⑥ボルトB×4本 (M6×50)

1 イス本体にサイドフレームを取付けます。

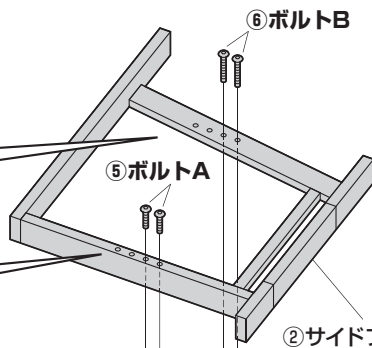
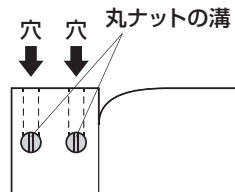
横から見た図

座面は3段階で高さ調節ができます。
高……ネジ穴1と2を使用
中……ネジ穴2と3を使用
低……ネジ穴3と4を使用

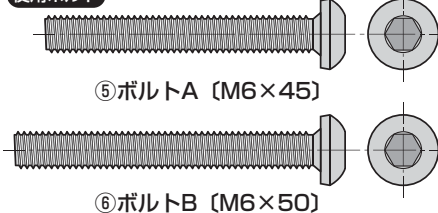


前から見た図

付属のマイナスドライバー兼六角レンチでイス本体の丸ナットの溝を穴の方向に合わせます。



使用ボルト

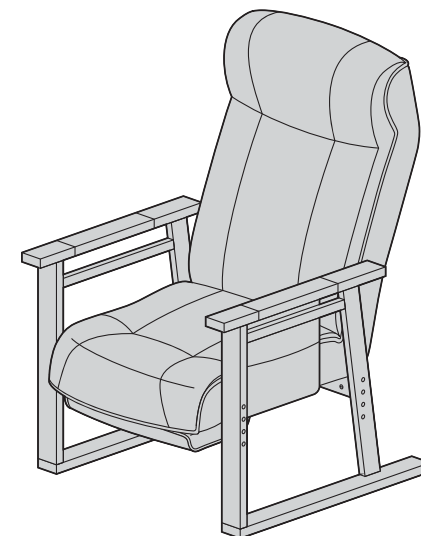


▲注意▲
ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。

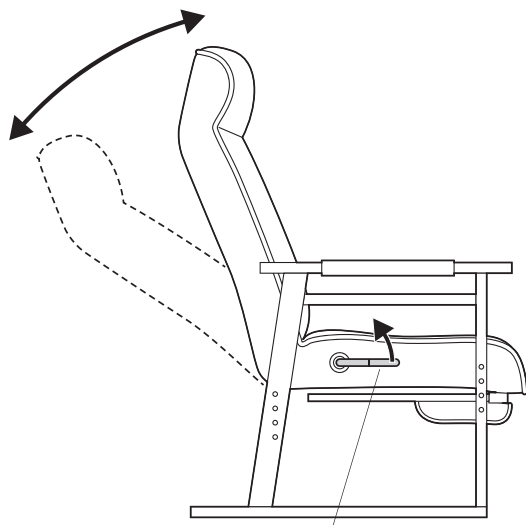
※同様にサイドフレーム(左)を同じ高さに取り付けます。

2 イス本体を起して完成です。

▲注意▲
可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。



背もたれの角度調節方法

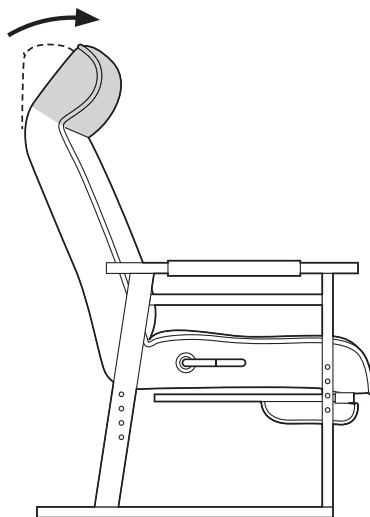


レバーを引き上げると背もたれの角度調節ができます。

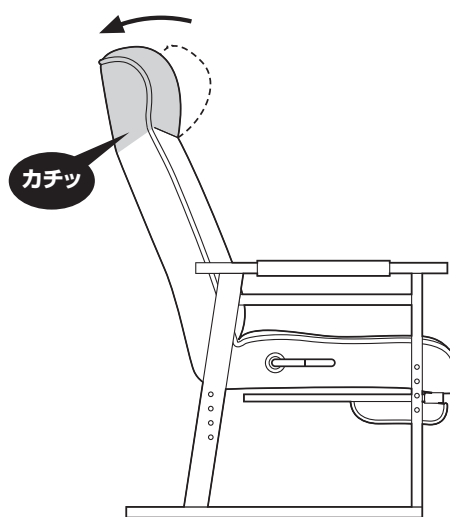
ヘッドレストの角度調節方法

※ヘッドレストの角度は6段階で調節可能です。

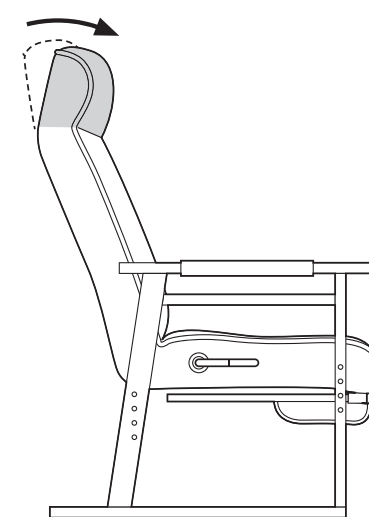
①ヘッドレストを前に最後まで倒します。



②ヘッドレストを後にカチッと音がするまで倒します。



③ヘッドレストを少しずつ前に倒し、任意の位置でとめます。

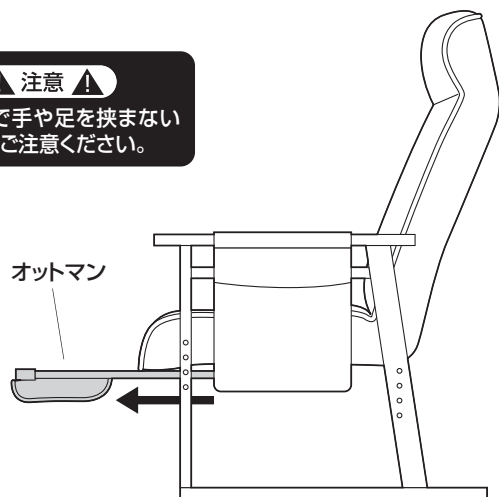


オットマンの使用方法

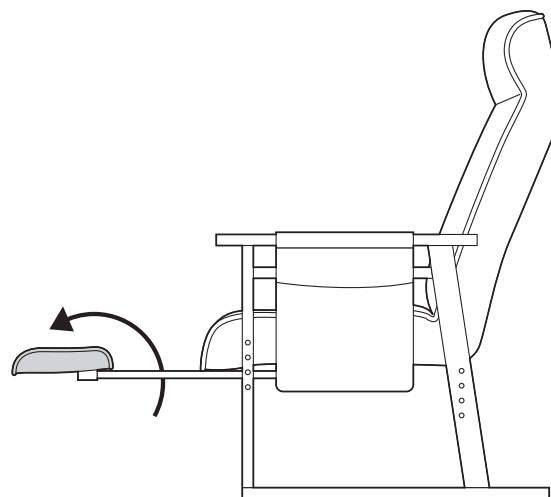
①座面の下からオットマンを引き出します。

▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



②オットマンを180°回転させます。



チェアの品質表示

構造部材：座部・背もたれ部/合板 サイドフレーム/木材
張り材：PULゼー
クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。